

# 東白杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和6年6月 東白杵農林振興局  
（東白杵南部農業改良普及センター）

## 目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P3～4)
  - 1) 【全域】宮崎県農業経営指導士会南部支部会議を開催
  - 2) 【門川町】6次産業化に関する地域相談を実施
  - 3) 【日向市】日向市畜魂祭の開催
  - 4) 【美郷町、日向市、諸塚村】美郷町さいごう完熟金柑部会定期総会
  - 5) 【全域】冬春ミニトマト出荷延長者ほ場巡回
  - 6) 【全域】冬春きゅうりの実績検討会及び講習会
  - 7) 【椎葉村】新規就農者育成総合対策審査会が開催
  - 8) 【椎葉村】ミニトマトの全戸巡回を実施
  
- II 主な普及指導活動等の取組み
  - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P5～7)
    - 1) 【美郷町】農業経営コンサルティングが開催
    - 2) 【日向市】農業経営改善計画の認定審査会が開催
    - 3) 【門川町】ライフプランと経営計画策定支援を実施
    - 4) 【美郷町】くり生産振興に向けた検討会開催
    - 5) 【全域】お試し就農体験研修の実施
    - 6) 【門川町】門川町高糖度トマト生産組合で就農研修受入れ体制を検討
    - 7) 【日向市・美郷町】新規就農者の就農状況確認
    - 8) 【美郷町】加工グループのレシピ承継を検討
    - 9) 【美郷町】若手肉用牛農家を対象に繁殖巡回を実施
    - 10) 【諸塚村】荒茶品評会の開催
    - 11) 【全域】冬春ミニトマト部会役員支部長会にてシミ果（仮称）の情報を提供
    - 12) 【全域】スイートピー個人面談を実施
    - 13) 【全域】冬春ミニトマトの施肥設計作成を支援
    - 14) 【椎葉村】矢立ほうれんそう共同選果場検討会で産地ビジョンを推進
    - 15) 【椎葉村】ほうれんそうの作付状況等を調査

## 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動

(P8～12)

- 1) 【日向市】農福連携推進に向けて日向市就労系連絡協議会への参加
- 2) 【全域】日向・東臼杵農山村女性会議が総会を開催
- 3) 【日向市】日向市和牛改良組合総会の開催
- 4) 【日向市】新嘗祭献穀に係るお田植祭の開催
- 5) 【美郷町】小学生向け茶育活動を実施
- 6) 【全域】冬春きゅうり防除暦検討会を開催
- 7) 【日向市、美郷町】きゅうり巡回とウイルス検定を実施
- 8) 【日向市】千切り用大根の適期防除のための防除暦作成を支援
- 9) 【門川町】難防除害虫調査により適期防除を啓発
- 10) 【日向市】促成きゅうりの環境制御勉強会で栽培管理の改善を提案
- 11) 【美郷町】出荷者協議会で農薬適正使用について講習
- 12) 【美郷町、諸塚村】夏秋ミニトマト現地巡回で梅雨時期の管理を指導
- 13) 【全域】野菜部会でミニトマト新品種の現地適応性を検討
- 14) 【日向市、門川町】スナップえんどう実績検討会で適期防除を指導
- 15) 【美郷町、日向市、諸塚村】完熟きんかんの今後の管理指導
- 16) 【美郷町、日向市、諸塚村】美郷町さいごう完熟金柑部会の園地巡回を実施
- 17) 【美郷町、日向市、諸塚村】シキミの基本的な農薬使用の指導
- 18) 【美郷町、日向市】ほおずき8月出荷型の着色作業について指導
- 19) 【椎葉村】山椒栽培説明会が開催

# I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

## 1) 【全域】宮崎県農業経営指導士会南部支部会議を開催

20日、日向総合庁舎で、農業経営指導士会東臼杵南部支部の総会及び意見交換会を開催し、指導士9名が出席されました。令和5年度活動実績や、令和6年度活動計画等について協議が行われ、新たな役員も選出されました。その後、「新規就農者をはじめとする担い手の育成・確保及び地域農業の振興」について、地域の現状や課題、解決方策等について意見交換を行いました。

今度も引き続き、農業経営指導士の方から、助言や指導をいただきながら、普及指導活動を行ってまいります。



【農業経営指導士総会】

## 2) 【門川町】6次産業化に関する地域相談を実施

27日、普及センターで、門川町の露地野菜農業者1名の6次産業化経営改善地域相談会を実施しました。宮崎県産業振興機構の専門員から、6次産業化に取り組む際の注意点や、利用できる県の施設等について説明を行い、相談者には、家族で話し合っただけで今後の方向性を考えていただくこととしました。今後、情報提供等引き続き支援を継続してまいります。

## 3) 【日向市】日向市畜魂祭の開催

27日、日向市塩見で、日向市畜魂祭が開催されました。畜魂祭には日向市和牛改良組合員を始め、日向市役所、畜連、NOSAI、農協、普及センターが出席し、代表者による玉串奉納が行われました。

催事終了後、日向市和牛改良組合長の挨拶で、6/25に宮崎市で開催された繁殖牛部会長会の出席報告と、今後も会議の場等で部会員の意見を集約して伝えていきたいので思っていることや要望等をどんどん伝えて欲しいとのお願いがありました。最後には、この厳しい状況を皆で協力して乗り越えましょうと力強いメッセージがあり、部会全体で一致団結する様子が見られました。



【日向市畜魂祭】

## 4) 【美郷町、日向市、諸塚村】美郷町さいごう完熟金柑部会定期総会

14日、JA西郷支店で、生産者25名、関係者12名が参加し、定期総会が開催されました。

総会では出荷実績5部門の優良者表彰が行われ、令和5年度活動実績等について承認されました。産地戦略ビジョンについても改めて産地全体の目標確認が行われました。



【金柑部会定期総会】

## 5) 【全域】冬春ミニトマト出荷延長者ほ場巡回

10日、関係者5名、生産者13名が出席し、JA冬春ミニトマト専門部会の出荷延長希望者のほ場巡回が開催されました。専門部会が取り決めた収穫終了時期は6月15日でしたが、それ以降も出荷を希望する生産者について、品質状態や出荷量の見込み等を確認するための巡回です。

産地として品質を落とさないよう、最後まで生産者一人ひとりが努めてまいります。



【冬春ミニトマト巡回】

## 6) 【全域】冬春きゅうりの実績検討会及び講習会

18日、JA美々津支店で、関係者5名、生産者6名が出席し、冬春きゅうりの実績検討会及び講習会が開催されました。

今作は、長雨の影響等で数量は前年の9割ほどでしたが、単価が高かったため販売金額は前年と同等となりました。

講習会では、経済連の下池主管を講師に招き、栽培方法や品種のそれぞれの特徴や新しい資材について講習が行われました。生産者は質問を行いながら、内容について理解を深めている様子でした。



【冬春きゅうり講習会】

## 7) 【椎葉村】新規就農者育成総合対策審査会が開催

10日、椎葉村役場で、関係者8名が出席し、新規就農者育成総合対策審査会が開催されました。新規就農者1名に関して審査が行われ、本人の意気込みや要件の確認、手続き上の各種検討が行われました。振興局担当と駐在からは、事業に関する助言や農業者研修の情報提供を行いました。

20代の若手の参入は椎葉村の農業において貴重な人材であり、今後も関係機関一体となって育成を図っていく予定です。



【新規就農者育成総合対策  
審査会】

## 8) 【椎葉村】ミニトマトの全戸巡回を実施

27～28日、椎葉村内の夏秋ミニトマト栽培ほ場において、関係者2名が参加し、現地巡回が行われました。

早いほ場で6月下旬から収穫が始まっており、7月上旬から徐々に収穫量が増えてくる見込みです。曇雨天による日照不足が影響し、全体的に徒長傾向ではあるものの、病虫害も少なく概ね生育は良い状況です。

普及センターからは、日照不足長雨対策の資料を説明し、対策に取り組むよう働きかけました。

今後も定期的な巡回を行い、気象情報の提供や栽培の適期管理を指導していきます。



【ミニトマト巡回】

## Ⅱ 主な普及指導活動等の取組み

### 1 プロジェクト（基本、専門、重点）に関する普及活動

#### 1) 【美郷町】農業経営コンサルティングが開催

6日と10日、美郷町の畜産農家2戸に対して、JA農家経営支援センターによる経営コンサルティングが開催されました。ご本人への聞き取り調査を行いながら、普及センターからは技術と経営に関し、経営発展に向けた提案を行いました。今後とも引き続き支援していきます。



【経営コンサルティング】

#### 2) 【日向市】農業経営改善計画の認定審査会が開催

25日、日向市役所で認定農業者の農業経営改善計画認定審査会が開催され、関係機関8名で審査しました。

更新1件と変更1件（ともに施設園芸）の共同申請に係る審査で、2件とも承認されました。

#### 3) 【門川町】ライフプランと経営計画策定支援を実施

門川町の畜産農家1戸に対し、ライフプランと経営計画策定について個別支援を実施しました。生活面については3大資金である「住宅資金」、「教育資金」、「老後資金」に注意すること、ライフイベントで大まかな予算を決めること等について説明しました。また、経営計画については、規模拡大等に伴う借入金の償還とライフプランにおける教育資金（高等教育期）について、特に注意が必要であることを家族でも共通認識することができました。

今後とも引き続き、具体的な計画策定と経営支援を実施していきます。

#### 4) 【美郷町】くり生産振興に向けた検討会開催

10日、13日、普及センターで、美郷町役場、振興局、12名が出席し、今後のくり生産に係る検討会を行いました。

美郷町役場から6次化やスマート農業等のこれまでの取り組みについて説明があった後、普及センターから園地台帳を活用して、傾向を見える化した地図やデータを説明し、現状把握を行うとともに、今後の目標設定に向けて話し合いを行いました。活発な意見交換となり、今後、具体的な対策を検討するため、8月までに各関係者で情報収集し、再度検討会を開催することになりました。今後とも引き続き、関係者と連携して、産地振興への支援を行っていきます。



【くり生産検討会】

#### 5) 【全域】お試し就農体験研修の実施

6日から7日、JA冬春ミニトマト専門部会長の元で、日向市の就農希望者1名に対し、お試し就農体験研修が実施されました。

ミニトマトの管理作業だけでなく、ハウスの補強作業などについて研修が行われました。また、近隣の部会員のハウスの巡回も実施されました。

今後、技術習得の為に長期研修を実施することとなっているので、就農に向け、継続的に支援していきます。



【お試し就農体験研修】

## 6) 【門川町】門川町高糖度トマト生産組合で就農研修受入れ体制を検討

3日、JA門川選果場で、門川町高糖度トマト生産組合員と関係者、13名が参加し、就農研修受入れ体制の検討会が開催されました。

検討会では、就農研修の際に活用できる事業や現在の就農支援体制の情報共有、今後の就農研修についての検討が行われた結果、研修受入体制を整備することとなりました。

今後は、研修受入体制の整備に向け、関係者と協力しながら、継続的に支援していきます。

## 7) 【日向市・美郷町】新規就農者の就農状況確認

25日、日向市と美郷町において、新規就農者6名を巡回し、就農状況の確認を行いました。

巡回では、昨年度の栽培実績や子牛の出荷実績、経営状況等の確認しました。

今後も、引き続き、新規就農者の技術・経営における課題の解決ができるよう、支援していきます。



【肉用牛繁殖農家の  
就農状況確認】

## 8) 【美郷町】加工グループのレシピ承継を検討

27日、美郷町の加工グループメンバー2名、普及センター2名で検討会を行いました。

検討会では、新たなレシピの継承について話し合い、今年度のグループの活動の聞き取りを行いました。

今後も関係者と連携しながらレシピの継承が円滑に行えるよう支援をしていきます。



【加工商品の材料】

## 9) 【美郷町】若手肉用牛農家を対象に繁殖巡回を実施

24日、美郷町西郷において、若手肉用牛農家を対象に普及センター、延岡家畜保健衛生所、専門技術員、県畜産試験場で繁殖巡回を行いました。巡回では、家畜保健衛生所が妊娠鑑定等の繁殖検診を、普及センター、専門技術員、県畜産試験場で子牛の体側を行いました。

農家とともに、前回と今回の体測結果とを見比べながら現状を確認することで、給与内容や疾病の発生状況等を聞き取り、今後の飼養管理に関して助言・指導を行いました。今後も関係機関と連携して、生産性向上に向けて支援を行っていきます。



【若手肉用牛繁殖農家巡回】

## 10) 【諸塚村】荒茶品評会の開催

25日、諸塚村役場で、専門技術員と茶業支場研究員が審査員として参加し、生産者、関係機関・団体関係者17名が集まり荒茶品評会が開催されました。

審査では釜炒り茶16点、煎茶10点が審査され、釜炒り茶は上位10点が、煎茶は上位3点がそれぞれ日向地区荒茶品評会への出品が決まりました。

講評では一部の茶で製造過程上の指摘が見られましたが、全体的に品質が向上してきているとの評価がありました。

今回の評価は今後開催予定の茶園品評会の結果とともに諸塚村の茶業振興の支援に活用していきます。



【荒茶の水色審査】

## 11) 【全域】冬春ミニトマト部会役員支部長会にてシミ果(仮称)の情報を提供

17日、JA冬春ミニトマト専門部会の役員支部長会が開催されました。令和6年産の出荷実績の共有や、7月の総会に向けての資料の確認等が行われました。

普及センターからは、生産者から相談のあったミニトマトのシミのような症状について、検鏡の結果等の情報提供を行いました。まだ原因特定には至っていませんが、検鏡の写真等を見た生産者からは、どのような場合に発生が多いか、どのように管理を行ったら発生が抑制できるかなど意見が活発に出されました。

冬春ミニトマトは今作はほとんど終了となっていますが、今後も病害虫や生理障害の情報提供等をとおして、さらなる収量向上に向けて生産者と関係機関で一体となって取り組んでいきます。

## 12) 【全域】スイートピー個人面談を実施

25日に門川・美々津、27日に美郷町、28日に諸塚村の生産者合計5戸に対して関係者3名で今年度の作付けに向けた個人面談を実施しました(残り2戸は来月実施予定)。普及センターからは販売実績を基に作成したマトリクス分析の結果を用いて説明を行いました。

生産者は単価や出荷本数の個人の成績、部会内での位置づけを確認したことで昨年度の反省点と課題を整理しました。その後、今年度の取組内容を決定し、課題も設定しました。

生産者からは今年度は作業性を向上させる、防除を適期に行う等、積極的な目標設定や栽培に対する意欲が見受けられました。



【スイートピー個人面談】

## 13) 【全域】冬春ミニトマトの施肥設計作成を支援

12日、普及センターで、JAと普及センターの担当で、土耕栽培の冬春ミニトマト生産者の施肥設計作成を支援しました。土壌診断の結果に基づいて、水素イオン濃度や塩基バランスなどを考慮して、施肥設計を考えました。バランスの偏った土壌の状態を矯正して、適切な元肥施肥を行うことは、初期生育はもちろん、その1作に影響するため重要です。今作はまだ終了していませんが、すでに次作に向けた準備が始まっています。

## 14) 【椎葉村】矢立ほうれんそう共同選果場検討会で産地ビジョンを推進

3日、矢立集出荷場で、共同選果を行う生産者12名と関係者5名が出席し、第1回目の検討会が開催されました。選果場の清掃や機械のメンテナンスを共同で実施した後、規格の改定や諸経費等について検討が行われました。

駐在からは、前回の産地ビジョン検討会の振り返りや今後のスケジュールの提案を行い、第1回目の検討を8月上旬に実施することで合意を得ました。また関係機関との連携を図るため、別途26日に、技術員会の中で進め方について協議を行いました。

今後も、関係機関との連携を図りながら、実践に繋がる産地ビジョンの作成を支援していきます。



【共同選果場検討会】

## 15) 【椎葉村】ほうれんそうの作付状況等を調査

13日、17日、19日に、ほうれんそう生産者のほ場を巡回し、栽培計画や作付状況の調査を行いました。

全体的に播種時期が遅延傾向ではあるものの、病害虫も少なく、概ね順調に生育しています。

巡回時には、栽培スケジュールや品種の聞き取り、ほ場の生育状況確認を定期的実施しながら、生産性向上に向けた検討で活かせるよう整理していく予定です。



【ほうれんそうほ場】

## 2 プロジェクト（基本、専門）以外の普及活動

### 1) 【日向市】農福連携推進に向けて日向市就労系連絡協議会への参加

25日、日向市障がい者センターで開催された日向市・東臼杵郡自立支援協議会の就労系事業所連絡会に参加しました。

普及センターから、日向地域農業再生協議会で行っている農福連携推進のための作業見学会や農業者研修会の取り組みを紹介しました。

今後も定期的に情報提供や意見交換を行い、農福連携の円滑な推進を図っていきます。



【連絡会で農福連携の取組を紹介】

### 2) 【全域】日向・東臼杵農山村女性会議が総会を開催

14日、普及センターで、構成員11名、関係者10名が出席し、令和6年度日向・東臼杵農山村女性会議総会を開催しました。

総会では、令和6年度の構成員の活動計画や収支予算についての協議と研修会を行いました。

今後は、定期的な会議の開催や交流会を通して、日向・東臼杵の農山村女性リーダー間の連携を強化するとともに、農山村女性の資質の向上を図っていきます。



【日向・東臼杵農山村女性会議総会】

### 3) 【日向市】日向市和牛改良組合総会の開催

4日、JA日向会館で、日向市和牛改良組合総会が開催されました。

今回、対面では久しぶりの開催となり、多くの組合員及び関係機関が出席しました。

活動内容や収支の協議、畜連の白坂参事からは、畜産の情勢報告が行われ、セリ市開催の方向性や授精師料の見直し等について、組合員より様々な意見が出されました。

今後も、日向市和牛改良組合の発展をめざして、関係機関と連携して支援してまいります。



【日向市和牛改良組合総会】

### 4) 【日向市】新嘗祭献穀に係るお田植祭の開催

2日、日向市東郷町坪谷地区において、市長、坪谷小学校、中学校の児童生徒や先生、地域の生産者、関係機関団体が集まり、神事と田植が行われました。神事ののち圃場の一部は市長や小中学生を中心に手植えを行い、残りの部分は田植機で行いました。

今後は10月に収穫を行い、11月の新嘗祭で献穀される予定です。



【献穀米用圃場の田植】

## 5) 【美郷町】小学生向け茶育活動を実施

21日、美郷町立西郷義務教育学校で、5年生8名を対象に生産者、関係機関・団体職員8名でお茶の入れ方に関する授業を行いました。

普及センターからお茶に関する話をクイズ形式で行い、JA職員から実演を交えたお茶の淹れ方をレクチャーした後、お茶淹れを体験してもらいました。

体験では、美郷町内産の煎茶と釜炒り茶を自分たちでお茶淹れし、同じく美郷町内で生産された紅茶を水出したものと合わせて3つを飲み比べしました。

当日は参観日で保護者も参加しており、子供の淹れたお茶を一緒に味わっていました。児童達は体験を通じて、改めて地元産のお茶の魅力を感じることができたようです。



【児童によるお茶淹れ体験】

## 6) 【全域】冬春きゅうり防除暦検討会を開催

19日、普及センターで、JAと普及センターの担当者が出席し、冬春きゅうり防除暦検討会を開催しました。

これまでの生産者の散布実績を参考にしたり、ラックコードによるローテーションを考慮したりしながら、昨年産の防除暦の改訂を行いました。

令和6年産では黄化えそ病による植え替えも発生しました。次作の令和7年産では、この防除暦にもとづいた適切な防除をさらに推進して病害虫の発生を抑制し、安定した経営に向けて支援していきます。

## 7) 【日向市、美郷町】きゅうり巡回とウイルス検定を実施

17日、日向市と美郷町の現地において、関係者3名が出席し、きゅうり生産者3名の戸別巡回が行われました。この巡回は、促成栽培終了以後も栽培を継続している生産者に対するものです。

ほ場の草勢等は良好ですが、昨年から黄化えそ病が散発していることから、今回の巡回で感染疑いの株があったため検定を行ったところです。

黄化えそ病が多発し、植え替えが必要になると経営への大打撃となり得ることから、化学農薬だけに頼らない総合的な防除指導を今後も実施して、安定経営に向けた取り組みを支援していきます。

## 8) 【日向市】千切り用大根の適期防除のための防除暦作成を支援

7日、JA美々津支店で関係者3名が出席し、千切り用大根の防除暦検討を行いました。

大雨や暖冬の影響を受けて千切大根に加工できる歩留まりが低下する課題があり、各生産者の防除履歴を踏まえ、播種前の亀裂褐変症予防や定期的な軟腐病予防の殺菌剤を組み込みました。

7月には、栽培講習会が行われ、防除暦の説明や、発生が多くみられている亀裂褐変症、軟腐病対策について指導する予定です。

## 9) 【門川町】 難防除害虫調査により適期防除を啓発

14日（粘着板設置）、24日（粘着板回収）に、門川町内において関係者6名が参加し、門川町蔬菜園芸振興会（以下、振興会）の害虫調査を実施しました。

振興会では、施設園芸で問題となるコナジラミ類やアザミウマ類等を粘着板で捕殺し、地域毎の害虫密度を定期的に調査しています。調査結果は普及センターがとりまとめ、生産者に返却しています。生産者からは、「ハウス外でのコナジラミの発生が目立つ地域もあるため、周年栽培のトマトでは、引き続き警戒し防除に努めたい」という意見が聞かれました。

引き続き、普及センターでは、結果の返却とともにほ場周辺の雑草除去を行うなど、地域全体での取組を啓発していきます。



【害虫調査・粘着板の回収】

## 10) 【日向市】 促成きゅうりの環境制御勉強会で栽培管理の改善を提案

18日、JA美々津支店で、関係者5名が参加し、きゅうりの環境制御技術勉強会を開催しました。

勉強会では、今作の生育調査の結果や環境データから振り返りを行うとともに、他地域の環境データとの差がみられた「湿度」に注目して来作に向けた管理を提案しました。

生産者からは、これまで温度管理を重視するあまり、「湿度管理を気にしていなかった。」、来作では開閉時間や開閉の度合いを調整して湿度管理を行っていききたいという意見が出ました。

引き続き、来作も生育調査と環境データ等のとりまとめを普及センターで行い、収量向上につながるように支援していきます。



【促成きゅうり栽培管理の検討】

## 11) 【美郷町】 出荷者協議会で農薬適正使用について講習

20日、美郷町北郷支所で、生産者19名、関係者5名が参加し、美郷町出荷者協議会講習会が開催されました。

普及センターからは、農薬の適正使用、援農隊の紹介、熱中症対策、農業者ベーシック研修の案内を行いました。農薬の適正使用は、直売所の安全・安心のための取組の一つとして理解が得られ、生産者からは質疑も受けました。

引き続き、普及センターでは、日常の普及活動において、農薬の適正使用について周知を行っていきます。



【美郷町出荷者協議会講習会】

## 12) 【美郷町、諸塚村】 夏秋ミニトマト現地巡回で梅雨時期の管理を指導

25日、美郷町および諸塚村内の夏秋ミニトマト栽培ほ場において、生産者11名、関係者5人が参加し、夏秋ミニトマトの現地巡回が行われました。

定植から約2～3ヶ月が経過し、早いほ場では出荷が始まっています。また、梅雨に入り日照不足、着果負担もかかり樹勢が落ち込む時期に入っていますが、生産者はん水量の調整や葉面散布等を実施しており生育は順調です。

普及センターからは、梅雨時期の栽培管理や農薬の適正使用について説明し、樹勢の維持と農薬の適正使用を啓発しました。

今後も定期的な巡回により、栽培管理、病虫害の適期防除の指導を行い、収量と品質向上を支援していきます。



【夏秋ミニトマト個別巡回指導】

### 13) 【全域】野菜部会でミニトマト新品種の現地適応性を検討

26日に普及センターで、関係者11名が参加し、日向地区営農振興協議会野菜技術員会を開催しました。

技術員会では、各品目の生育概況や販売状況、営振協展示ほ（実績・計画）、野菜共進会、ブランド事業活動について情報共有と検討を行いました。

営振協展示ほの検討では、R5年度に実施した促成ミニトマト良食味品種の現地適応性試験について意見交換をしました。現行品種を上回ることが期待できなかったため、今年度の営振協展示ほでも新品種の現地適応性の試験を実施予定です。

### 14) 【日向市、門川町】スナップえんどう実績検討会で適期防除を指導

28日、JA経営支援センターで、生産者8名、関係者9名が出席し、スナップえんどう実績検討会が行われました。

R6年産では、暖冬の影響もあり出荷のピークが例年よりも早まり作期が短く、3月以降の悪天候の影響で栽培の難しい作になりました。

実績検討会では、民間種苗会社からの栽培講習会もあわせて実施されました。普及センターからは、防除暦、栽培暦の説明と農業者研修の案内を行いました。特に、R6年産での発生が多く見られた「アザミウマ類」「ウラナミシジミ」の防除について指導を行いました。

引き続き、適期防除の指導等を通じて品質向上を支援していきます。



【スナップえんどう  
実績検討会】

### 15) 【美郷町、日向市、諸塚村】完熟きんかんの今後の管理指導

14日の定期総会後に普及センターから今年の生育状況を踏まえた当面の時期的な管理（開花期加温、高温対策等）について指導を行いました。

### 16) 【美郷町、日向市、諸塚村】美郷町さいごう完熟金柑部会の園地巡回を実施

3～4日、関係者3名が参加し、部会員全戸の個別巡回を行いました。このうち生産者20名に対しては園地の状況をみながら、これまでの管理状況を聞き取り、今後の管理について説明を行いました。今年は4～5月前半の日照不足の影響とみられる新梢の緑化遅れが懸念されるため、窒素の葉面散布の回数を増やすようお願いしました。生育が早いところでは出蕾前の蒸し込みを始めており、既に栗子の発生が確認され、順調に生育している状況がみられました。

### 17) 【美郷町、日向市、諸塚村】シキミの基本的な農薬使用の指導

19日、JA西郷支店において、生産者26名に対して、シキミの自動紐掛け機実演会後に農薬使用の講習会を実施しました。

普及センターからは、5～6月に多く見られるサビダニの防除に関する話をを行った際に農薬の使用に関する注意点を指導しました。併せて、農業者研修とセーフティネット相談窓口の案内を行いました。

今後も栽培管理、病害虫の適期防除の指導を行い、品質向上を支援していきます。



【シキミ講習会】

## 18) 【美郷町、日向市】ほおずき8月出荷型の着色作業について指導

20日、美郷町北郷支所で部会員6名、関係者5名が参加し、ほおずきの7月出荷作型の目揃え会が開催されました。

経済連からは、花きの販売情勢やほおずきの販売方針について、JAからは、出荷規格の説明が行われました。目揃えの際には、摘心の位置や着色状況、エスレルの散布方法等について活発な意見交換が行われました。

普及センターからは、8月出荷の着色作業や熱中症対策について説明を行いました。本年産の7月作型は7月1日から出荷が行われます。



【7月出荷作型目揃え会】

## 19) 【椎葉村】山椒栽培説明会が開催

6日、椎葉村開発センターで、生産者5名、関係者10名が出席し、山椒栽培説明会が開催されました。

駐在では、林務と農業の担当が連携して、新規品目として興味がありそうな生産者に声をかけ、生産者の参考となる情報が引き出せるよう質疑応答に参加しました。

生産者からは積極的に質問が出され、前向きに検討される様子が伺えました。



【山椒栽培説明会】